

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/
E-mail:gyoren@kagawa-
gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

第24回全国豊かな海づくり大会開催!

10月3日(日)サンポート高松において、天皇・皇后両陛下をお迎えし「第24回全国豊かな海づくり大会」が開催された。会場には、一般来場者を含め5万2千人が参集した。

サンポートホールで行われた式典行事は、服部漁連会長の開会の辞で始まり、河野大会会長(衆議院議長)、真鍋知事の挨拶、増田高松市長の歓迎のことばと続き、天皇陛下からおことばを賜った後、表彰行事へと移った。



式典行事：天皇陛下おことば



式典行事：天皇・皇后両陛下

表彰では、河野大会会長、島村農水大臣、田原水産庁長官、真鍋知事がそれぞれの部門代表に表彰状を手渡した。本県関係では、資源管理型漁業部門で香川県さわら流しさし網協議会が大会会長賞を受賞し、森朝征会長が代表して壇上で表彰された。その

後、作文コンクールで大会会長賞を受賞した石井裕子さん(観音寺豊田小5年)が最優秀作文「おじいちゃんのいりこ飯」を朗読・発表した。次いで、クルマエビ、アカガイ、アマモが両陛下から漁業後継者夫妻(西詫間漁協 亀野夫妻、庵治漁協 濱夫妻)にお手渡しされた。

引き続き、小豆地区の子供たち代表による「二十四の瞳」メッセージ、消費者代表親子による消費者代表メッセージ、漁業後継者夫妻(下笠居漁協 濱本夫妻)より誓いのことばが発表された。

壇上では、植村大会推進委員長(JF全漁連会長)が大会決議を朗読し満場の拍手とともに採択された。大会旗を真鍋知事から次期開催県である松沢神奈川県知事、中田横浜市長に引継ぎ、増田県議会議長が閉会のことばを述べて式典は終了した。

放流行事は、サンポートせとシーパレットで行われ、両陛下がお着きになられた後、庵治町舞台船獅子舞が披露され、県下各漁業種類の漁船、県有船など22隻による華麗で勇壮な海上パレードが行われた。その後、タケノコメバル、キジハタ、ヒラメ、オニオコゼが放流された。



放流行事：稚魚を放流される両陛下

なお、関連行事は10月2日・3日の両日開催され、テーマ館では、「創造の海」、「交流の海」と題し瀬戸内海の漁業や魚の紹介、絵画・習字の作品展示、親水ゾーンでは帆船「あこがれ」、深海調査船「かいらい」の一般公開や「おさかなシャトル」イベントが人気を博していた。

販わい市場では、本会加工事業部(チリメン、ノリなど)、販売事業部(活魚)、購買事業部(くんせいハマチなど)のほか、各漁協、女性部などが出店し本県の水産物をアピールした。



漁船パレードをご覧になる両陛下

天皇陛下おことば

第 2 4 回全国豊かな海づくり大会が、瀬戸内海を望む、ここ高松市において開催されることを誠に喜ばしく思います。

本年は台風が多く、各地で大きな被害が生じましたが、ここ香川県においても、8 月以来の台風で人命が失われ、家屋や産業なども大きな被害を受けました。亡くなった人々の遺族や災害を受けた人々の悲しみや苦勞に深く思いを致しております。皆が協力して災害から順調に復興することを願っております。わが国の人々は昔から海と深く関わり、海からの恵みを受けてきました。この香川県が面する瀬戸内海も、多くの河川が海に注ぎ、魚介類の産卵場、育成場となる藻場が良く発達し、古くから豊かな海の幸を人々に与えてきました。10 世紀に編さんされた延喜式には鯛の貢納国 10 カ国の 1 つとして讃岐が挙げられており、当時、この海域が優れた漁場であったことが知られています。

しかし、人口も多く、産業活動の盛んな地域に囲まれた瀬戸内海を昔のような環境に保つことは難しく、今日、海は海岸の埋立て、海砂利の採取、汚水の流入などにより、汚染が進み、様々な生物の生活にとって厳しい状況になりました。その上、漁船や漁具の近代化による過剰な漁獲もあって、種類によっては、資源の減少が見られます。瀬戸内海を良好に保ち、資源の適切な管理を行い、資源を持続的に利用していくことが強く求められるゆえんであります。このような状況下、多くの関係者が、連帯感を持って、瀬戸内海の再生に向けて努力を重ねていることは非常に心強いことでもあります。一時著しく減少したサワラの漁獲量が、近年、国や瀬戸内海 11 府県の関係者による種苗放流や漁獲制限など資源回復の取組により、着実に増加していることはこの努力を示すもので誠にうれしく感じております。今後関係者の協力により、多くの魚介類の資源

が増加していくことを期待しております。

この大会に集う人々が海に対する認識を更に深め、美しい豊かな海づくりに力を尽くされるようお願い、大会に寄せる言葉といたします。



勇壮な漁船パレード

多度津町高見漁協と佐柳漁協 合併契約書に調印

多度津町高見漁協と佐柳漁協の合併調印式が、平成 16 年 10 月 18 日(月)午後 1 時から、多度津町役場第一会議室において、両漁協組合長他全役員と、来賓、関係者あわせて 40 余名の出席のもと、盛大に開催されました。



多度津町高見漁協と佐柳漁協の合併調印式

冒頭、多度津町高見・佐柳漁協合併推進協議会の会長である門多度津町高見漁協長が、「この多度津町においても、漁業就業者の減少と高齢化などによる漁村活力の低下は著しく、組合員の漁業経営は年々厳しさを増し、またそれに伴い漁協の経営も日増しに厳しくなってきた。一方、高見の餅つき歌に「高見、佐柳は似かよた島じゃ。間の小島が子じゃ、

孫じゃ。“というくだりがあるように、高見と佐柳は古くから深い繋がりがある。この関係を生かし、両漁協の基盤強化を図るべく、このたび高見と佐柳が合併することを決意した。合併後は、両漁協の役員はもとより、組合員一丸となって、漁協の健全な運営と組合員の漁業経営の安定化に向け、なお一層努力をする所存である。合併後も、関係者のご支援、ご指導をお願いします。」との挨拶を行い、続いて組織強化推進室浜田室長による経過報告と同波柴部長による合併契約書の朗読、続いて門漁協長、松田佐柳漁協長、立会人の小國多度津町長、服部県漁連会長及び田村信漁連会長が合併契約書に署名捺印を行いました。

調印後、小國町長、宮本県農政水産部長、服部会長、大喜多県議会議員並びに田中多度津町議会議長が祝辞を述べられ、植村全漁連会長からの祝電披露の後、松田組合長が、「先祖伝来継承されてきた地先の漁業と漁業権を、次の世代に引き継ぐとともに、組織基盤の強化を図るべく合併を決議し、本日、合併契約書に調印することができた。合併を契機に、漁協の組織改革を図り、地域振興の中核的役割を担える漁協となるべく、邁進していくことをここに宣言します。」との決意表明を行いました。

そして最後に、田村会長が万歳三唱を行い、1時間の式典は無事閉会しました。

合併後も、両組合長が挨拶、決意表明で述べられたように、組合員の皆様が一致団結して、漁協活動の活性化に努められ、健全経営に向けさらなる組織基盤の強化を図られますよう、大いに期待しています。

新組合の名称：多度津町高見漁業協同組合

合併予定日：平成 16 年 11 月 1 日

所在地：本所 仲多度郡多度津町高見 1 7 2 6
番地の 1 (現 多度津町高見漁協)

規模：正組合員 7 7、准組合員 1 2、計 8 9 名
漁船数 1 0 6 隻

長期共済保有高 1 3 2 千万円 購買供給高 4 千万円
出資金 5 . 5 千万円

(平成 15 年 12 月基準)

平成 16 年度第 1 回漁業技術研修会・ 漁業士研究会・のり着業検討会開催

平成 16 年度漁業技術研修会(海苔養殖部門)(主催：香川県、県漁連、信漁連、(社)県水産振興協会、県海苔養殖研究会)が、9 月 8 日(水)午前 9 時 3 0

分から香川県歴史博物館地下 1 階講堂において開催され、県下のノリ養殖業者、漁協職員など約 1 5 0 名が参加した。

講師には、ノリ情報センター代表 藤井 弘治氏を招き「海苔産業の現状と今後について」をテーマに講演が行われた。

香川のノリについては、全国の生産枚数で 9 % を占め寿司、おにぎりなどの業務用供給産地として大きな存在となっている。まとまった生産数量、品質のばらつきの少ないノリ産地としての存在価値を高める生産の維持が大切と説いた。そのほか、味付け海苔、業務用海苔の動向、海外産地の動向など最新の情報が提供された。

研修会終了後、午後 1 時 3 0 分より漁業士研究会が、漁業士 1 2 名と藤井氏ほか出席のもと開催され、香川のノリの目指す方向についてフリートーキング形式で熱心に討議された。

なお、当日午前にノリ着業検討会も併せて開催された。

ノリ採苗、台風で再採苗中！

今夏は、猛暑、台風の襲来と天候の変動が大きく、ノリ採苗作業への影響が懸念されたが、予定通り 9 月 2 5 日から多度津のり種苗センターで開始され、1 0 月 1 4 日順調に 3 万 6 千枚の採苗作業を終了した。今のところ、栄養塩は一部でケイソウプランクトンが大量に発生している地区を除き、昨年並みか昨年を上回っている。

1 0 月 2 0 日に襲来した台風 2 3 号により、県下で育苗中のノリ網に被害があり多度津のり種苗センターで再採苗を行っている。

赤潮終息宣言を発表

香川県魚類養殖業赤潮対策本部(本部長：服部県漁連会長)は、今後、海水温の降下とともに赤潮発生の可能性が低くなったため、9 月 2 1 日赤潮終息宣言を発表した。今夏、7 月 7 日にシャットネラアンティカにより警報第 1 号を発令し、7 月 2 1 日にはシャットネラオバータにより警報第 2 号を発令したが、中讃地区においてハマチに被害があった。その後、ギムノディニウムが発生し、警報第 3 号を発令したが、7 月 2 9 日までには、全ての警報を解除、8 月 3 0 日には全ての注意報を解除した。

高松市東部漁協 北浜復活祭開催！

10月24日(日)高松市東部漁協と北浜 alley などが企画し、かつての倉庫街や漁師町として栄えた地域の賑わいを取り戻そうと、高松市北浜町の東浜漁港で北浜復活祭が開催された。漁港の両岸にある東浜恵比寿と北浜恵比寿を海上で結ぶ「渡し」が35年ぶりに復活し、約500人が海上散歩を楽しんだ。また、当日は、早朝からお魚や野菜の朝市が開かれ、夜はマグロの解体ショーやマグロ・タコ・ハマチ・タイ・ハタの刺身、小エビ、タコ飯などシーフード料理を堪能しながらカラオケ大会を楽しんだ。この日の売り上げの一部は「高松を高潮から守る会」へ寄付される。



子供たちに大人気のマグロ解体ショー

新人職員奮闘記

「販売事業部 販売課にて」 戸田 智子

本年度より、販売課の方でお世話になっております戸田智子です。

私が香川県漁連に入会して早半年が過ぎようとしています。

私は始め、販売課に配属されたものの仕事の内容も全く分からないまま席に座っていました。毎日新しい仕事を教えてもらい、毎日先輩に質問責めだったような気がします。電話対応も相手の方の用件が聞き取れず、たくさん迷惑をかけてしまいました。最近ようやく取引先の方の声が分かるようになり、

少しは聞き分ける事ができるようになってきた気がします。

しかし、仕事を始めて半年が過ぎようとしている今でもミスの連続です。自分のミスも自分で片付けられず、先輩方に迷惑のかけ通しです。自分の少しのミスで同じ部署の方だけでなく、他の部署の方々にまで迷惑をかけてしまい、責任の重さを痛感しています。一つ一つの確認がとても大切だと思いました。

私は、毎日パソコンに向かって事務処理をしている為、現場の仕事を全く知りません。もうすぐ出荷が始まります。初めて現場に出るので仕事についていけるのかとても不安ですが、しっかり現場の仕事を見て勉強してきたいと思います。

四月から販売課の仕事を始めて今でも自分の仕事をするのが精一杯です。その為、お客様に気づくのも遅く気配りも全然出来ていません。何に関してもまだまだ未熟です。先輩を見習って早く仕事も気配りも一人前にできるよう努力したいと思います。

これからも皆様にはご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、元気よく日々努力していきますので皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

主な行事予定(11/1~11/30)

- 11月2日(火) 京浜地域市場懇談会(東京)
- 4日(木) 漁連理事会
のり関係組合長会議
- 13日(土) 引田水産加工センター竣工式
- 16~17日 定期監査
- 22日(月) 県女性連との資源管理意見交換会

訃報

西詫間漁協 故亀野 修 組合長

平成16年9月24日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。